

令和5年度 阪神北地域経営プログラム (地域創生戦略アクションプラン)

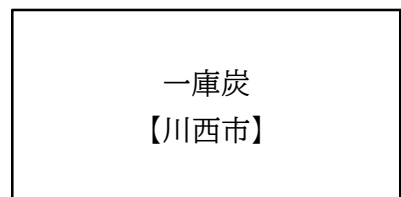
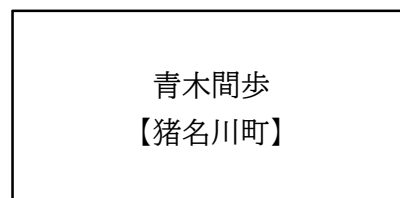
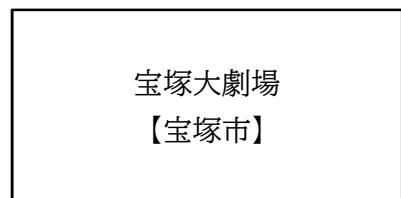
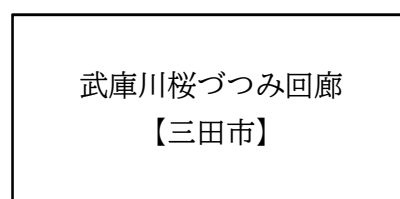
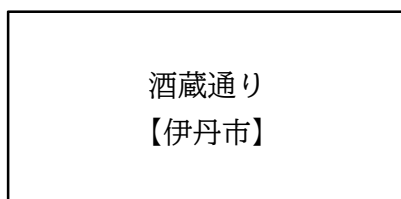


阪神北県民局

令和5年3月

令和5年度の取組方針	1
令和5年度 阪神北県民局主要事業	
第1 自分らしいスタイルが実現できるまちの創出	
1 「ひょうご北摂ライフ」の推進	2
2 多様な人が住みやすいまちづくり	2
3 地元産業の人材確保等支援	3
第2 自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまちの創出	
1 北摂里山の魅力向上の推進	5
2 伝統文化と阪神間モダニズムが息づくまちづくり	9
第3 みんながつながるやさしいまちの創出	
1 高齢者にやさしいまちづくり	10
2 持続可能な暮らしの実現	10
第4 にぎわいのあるまちの創出	
1 ひょうご北摂の観光魅力発信	16
2 美味しい「食」と多彩な「農」の創出	17
3 まちなかのにぎわい創出	19
地域創生戦略KPI	21
令和5年度 阪神北県民局地域躍動推進費事業体系	22

〔表紙の写真〕



令和5年度の取組方針

1 阪神北地域の特色

阪神北地域は、かつての首都圏「畿内」西端の「摂津国」に属し、歴史の表舞台に数多く登場してきた。明治時代の鉄道網の開発とともに、快適な住環境を備えた郊外住宅地として発展し、近代的な芸術文化や生活様式を柔軟に取り入れた独特のライフスタイル「阪神間モダニズム」を築き、特色ある歴史・文化を育んできた。

また、交通網が充実した多くのニュータウンが開発される一方で、森林面積が約6割を占め、その約9割が天然林であり、今なお歴史・文化や生物多様性などを保つ里山が数多く残され、今日では大都市に近接し成熟した「まち」と、北摂里山など豊かな「自然」が共存する、魅力ある地域を形成している。

2 課題

阪神北地域の人口は、昭和40年代からのニュータウン開発により急増してきたが、平成25年1月（726,392人）をピークに減少に転じ、令和5年1月の推計人口は、707,241人となっている。令和3年の1年間で、社会増減が1,149人減、自然増減が2,733人減となり、人口全体では3,882人の減少となっている。特に、20歳から29歳までの転出が多く、令和3年は2,169人の転出超過となっている。

また、65歳以上の高齢者人口の割合は、令和4年2月時点で、28.9%まで高まっており、急速な高齢化等が進むニュータウンでも、オールドニュータウンの課題が顕在化していく傾向にある。

このほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による働き方の変化（テレワークの拡大やワーケーション）や地方移住への関心の高まり、人との接触を減らすキャッシュレス化やオンライン化などの生活環境の変化や、SDGsなどへの対応が求められている。

3 取組の基本方針

利便性が高く、魅力ある地域資源をつなぐ充実した鉄道網・道路網などが整った快適な住環境や、「日本一の里山」をはじめとする豊かな自然が身近な生活、さらには消費地に近接し、地産地消に貢献する都市・都市近郊農業など、コロナ禍による生活環境の変化に対応しうる地域の特性を生かし推進する施策を、SDGsの視点を踏まえながら、県民や市町などと連携し展開することにより、多様な立場の人がつながり、対話しながら新しい価値を共に創る「コ・クリエーション(co-creation 共創)」により、地域のさらなる活力と豊かな暮らしを育んでいく。

【テーマ】 コ・クリエーション（共創）が育む活力あるまちづくりをめざして

【令和5年度重点目標】 自分らしいスタイルが実現できるまちの創出

自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまちの創出

みんながつながるやさしいまちの創出

にぎわいのあるまちの創出

○SDGs達成に向けた取り組み

阪神北県民局では、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、事業を推進していきます。



第1

自分らしいスタイルが実現できるまちの創出

利便性と自然環境のバランスがとれた地域で、ICTやAIなどの進化する技術を活用しながら、起業やまちづくりの活動、職住近接などを通じて、わくわく感や面白いことに挑戦できる地域を目指す。

また、時間や空間にゆとりを持った多様な暮らしの実現、自分らしいスタイルを実現できるまちを目指す。

1 「ひょうご北摂ライフ」の推進



(1) 「ひょうご北摂ライフ」魅力発信による移住・定住促進☆

ひょうご北摂地域の移住・定住人口の増加をめざし、市町と連携して、ポータルサイトやメディア等を活用し、地域の魅力ある暮らし等をPRする。

ア ポータルサイト等を活用した情報発信

ココシル「ひょうご北摂ライフ」に市町補助金等の移住支援制度を掲載するとともに、Instagramやメディアを活用し、地域の魅力情報を発信する。



イ プロモーションビデオの作成・発信

5市町の移住支援情報等を紹介するプロモーションビデオの作成・発信を行う。

ココシルひょうご北摂ライフ

2 多様な人が住みやすいまちづくり



(1) “きらっと☆オンリーワン”商品の販売促進☆

管内の障害者就労施設で作られた自主生産品を販売する「きらっと☆オンリーワン」ショップの開設やバザールの実施により、自主生産品の販売の拡大等を図り、障害者の自立と社会参加を促進するとともに、県民の障害者に対する理解を深め、交流を広げる。

ア 「“きらっと☆オンリーワン”ショップ」の開設

○日 時 月～金曜日(年末年始・休祝日除く)

11:30～13:00

○場 所 宝塚健康福祉事務所庁舎1階ロビー

または阪神シニアカレッジ3階EVホール

○主な販売品目 菓子、弁当、パン、自家焙煎珈琲、野菜、花き、手芸品、雑貨等

イ 「“きらっと☆オンリーワン”バザール」の開催

○時 期 令和5年6月、7月、12月、令和6年2月(予定)

○場 所 阪神北県民局管内の大型商業施設等

○内 容 “きらっと☆オンリーワン”ショップに参加する障害者就労施設の自主生産品の販売等



“きらっと☆オンリーワン”バザール宝塚 クリスマスのにぎわい

(2) 阪神北地域障害者就労支援事業☆

障害者の自立と社会参加をめざすため、阪神北地域の障害者就労支援機関が一体となり、障害のある人の「働きたい」を応援するシンポジウムを開催する。

- 時 期 令和6年1月(予定)
- 場 所 阪神北県民局管内

(3) 高度医療等連携推進事業の実施

地域の医療資源を有効に活用するため、医療確保対策圏域会議を開催し、阪神地域の病院間の連携強化や医療確保に向けた推進方策を検討する。

- 構 成 員 各市医師会、公立病院、民間病院協会、市町行政等
- 内 容 救急医療の現状と課題、医師確保対策における課題と今後の推進方策等
- 回 数 2回

(4) 川西こども家庭センター一時保護所の整備 (全県事業)

急増する一時保護委託及び一カ所運営体制の解消を図るため、新たな一時保護所を整備する。

- 場 所 川西市火打(旧川西こども家庭センター跡地)
※現川西こども家庭センターから徒歩5分
- 施設構造 鉄筋コンクリート3階建(延床面積2,702㎡)
- 定 員 46人
- 総事業費 約16.5億円
- 開設予定 令和7年4月

(5) 阪神北地域新設特別支援学校(仮称)の設置 (全県事業)

県立こやの里特別支援学校の在籍児童生徒の増加に対応するため、川西市における新設特別支援学校の設置に向け、整備する。

- 場 所 川西市丸山台
- 障害種別等 知的障害(小・中・高等部)
- 児童生徒数(予定) 120人
- 開 校 時 期 令和6年4月
- R5整備内容 建築工事等

3 地元企業の人材確保等支援等



(1) 若者ものづくり人材確保支援事業(阪神南県民センターとの共同事業)☆

阪神南県民センターと連携し、地元ものづくり企業への高校生、大学生の就職者数増加をめざす。

ア 産業用ロボットセミナー及び発表会

高校生が産業用ロボットについて学ぶ「ロボットセミナー&見学会」、ロボットの活用アイデアを発表する「ロボットセミナー発表会」を開催する。

- 対 象 阪神地域に在学する高校生
- 内 容 ・ロボットに関する講義及び作業デモンストレーションの見学
・ロボットの新用途等アイデアのプレゼンテーション及び表彰

イ 企業見学バスツアー

阪神間の企業への就職を希望する高校生、大学生を対象に、製造現場見学ツアーを実施する。

(ア) 高校生を対象とした企業見学

○内 容 阪神地域の企業 計 12 社（うち阪神北管内 4 社）を見学

(イ) 大学生を対象とした企業見学

○内 容 阪神地域の企業 計 4 社（うち阪神北管内 1 社）を見学



高校生企業見学バスツアー

(2) 阪神アグリパーク構想の推進☆

ア 阪神産農産物パワーアッププロジェクト

(ア) 次世代の担い手育成

a 農業系高校生等のインターンシップへの支援【本庁予算】

農業系高校生等に対して、阪神間で行われている葉物野菜等の先進的農業経営を学ぶインターンシップを実施し、将来の担い手を育成する。

b 高校生等での農業の魅力PR

農業系高校生等に対し、地域若手農業者による農業の魅力発信と先進的な農業の生産現場見学等の特別講義を実施し、将来の就農へのきっかけと弾みをつける。

c 認定新規就農者向け農業経営レベルアップ講座の開講【本庁予算】

管内の認定新規就農者の営農類型の多くは「露地・施設野菜」であり、今後の地域モデルとなるべき認定新規就農者に対しては、従来よりプロジェクト活動等を通じて栽培技術の習得支援を行ってきたが、近年では、認定新規就農者が増加し、栽培作物も多種多様となり、生産部会等に属さない事例も多くみられる。このため、栽培技術のレベルアップや経営管理能力の向上を目的とした「農業経営レベルアップ講座」を開講し、認定新規就農者の経営力の底上げ及び目標達成（就農5年目所得：2,000千円）を支援する。

第2 自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまちの創出

北摂の里山や阪神間モダニズムに代表されるこの地域に息づく文化や歴史などの様々な地域資源をまもり、次世代へ継承させる取組を進める。豊かな地域資源を地域住民自身も体感することによって、こころ豊かで、地域に愛着を持った人を育て、次世代への継承を目指す。

1 北摂里山の魅力向上の推進



(1) 菊炭 炭焼き体験ツアーの実施【公民連携・万博枠】☆

茶道用の炭として有名な菊炭を生産する川西市黒川地区を舞台に、地域団体と連携した炭焼き体験ツアーを実施する。フィールドパビリオンとしての展開に向けた機運を醸成しながら、炭焼きや山林の保全活動の魅力再発見・再評価、産業文化の継承をめざす。

- 時 期 令和5年12月、令和6年1月・3月（3回）
- 場 所 川西市内（黒川桜の森、県立一庫公園）
- 内 容 炭焼き体験ツアーを開催
- 対 象 伝統文化に興味をもつ方、山の保全活動に興味のある方等

(2) 北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）構想の推進☆

伝統的里山、先進的里山、天然記念物の保全管理や環境学習の支援などを担っている地域団体等と連携しながら、北摂里山の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげるため、北摂里山博物館構想を推進するとともに、2025 大阪・関西万博におけるフィールドパビリオンとして発信していく。

ア 北摂里山魅力づくり応援事業

里山の保全と利活用を促進するため、北摂里山をフィールドに活動する団体が実施する里山整備活動等を支援する。

- 対 象 里山の保全・整備等を継続的、計画的に行う団体
- 補助額 1団体当たり上限 20 万円



里山整備活動

イ 里山資源を活用した環境学習の実施

北摂里山の資源を活用し、大人から子どもまでの各世代にあわせ、地域への愛着をはじめ、「いのち」や「こころ」の大切さを踏まえた環境学習を推進する

（ア）北摂里山大学の開講

都会近くに残された北摂の里山地域一帯をフィールドに里山の再生と管理、生物多様性、環境、歴史・文化などを興味深く学べる市民大学講座。実習を中心としたプログラムを通じて北摂里山の保全や地域の活性化のための活動に取り組む人材を育成する。

- 対 象 森林ボランティアや環境活動団体のメンバーとして里山に関わる活動をしている者、または今後しようとする者（定員 25 名）
- 回 数 年 9 回程度
- 内 容 北摂里山博物館構想、北摂里山の歴史・文化、里山管理、里育、生物多様性、フィールドワーク等

(イ) こども北摂里山探検隊の開催

小中学生が五感を通じて里山への理解や愛着を高めるため、北摂里山をフィールドにした昆虫や植物などの観察、炭焼き体験等を開催する。

- 対象 小中学生（各回 30～50 名程度）
- 回数 年 6 回程度
- 内容 昆虫採集、木工教室、炭焼き体験等



【こども北摂里山探検隊（三田市沢谷地区・丸太ベンチづくり）】

ウ 丸山湿原群の活用促進

北摂里山博物館の里山 34 の一つであり、県内随一の生物多様性を擁し、県市の天然記念物に指定されている宝塚市西谷地区の丸山湿原群を保全管理し、エコツーリズムや環境学習の場として活用を図る。

エ 北摂里山博物館運営協議会の活動支援

北摂里山博物館構想の推進を図るため、県民局、市町、団体、企業、県民等が一体となって設立した北摂里山博物館運営協議会に対して、北摂里山魅力づくり応援事業や北摂里山大学等を補助又は委託している。

協議会では、県、市町の負担金収入等により、次の自主事業を実施する。

(ア) 北摂里山サポーターズクラブの運営

北摂里山に興味、関心を持つ個人、団体、企業をネットワーク化し、里山を守り生かす様々な取組の輪をさらに広げるため、会員を募集し、情報提供、イベントの開催、会員の活動紹介等を実施する。

[会員数] 個人：552 人、団体：22 団体、法人・企業：10 社
計 584 (R4.1 末現在)

[主な活動] 里山ハイキング、里山保全研修会の実施等

(イ) 北摂里山トレイルコースの紹介

北摂里山の利活用を図るため、北摂里山を巡るトレイルコース（サトトレ）を設定し、マップやスポット紹介などにより広く周知する。



北摂里山博物館ホームページ

(ウ) 北摂里山博物館構想(地域まるごとミュージアム)の魅力発信

北摂里山の魅力を Web サイトやポスター・リーフレットなどで広く発信する。

(エ) バーチャル北摂里山博物館の構築

北摂里山の風景を 360 度カメラやドローン等を用いて撮影し、WEB 上で魅力を発信することで現地に足を運んでもらう。

(3) ナラ枯れ対策の実施

北摂里山の景観維持・保全と、利用者や周辺住民の安全性を確保するため、被害木や今後被害を受ける可能性の高い大径木の伐倒・集積・樹幹注入等を支援する。

- 事業主体 森林ボランティア団体、森林所有者等
- 補助率 個人所有者(1/2以内)、森林ボランティア団体(定額)
- 補助限度額 個人所有者(105千円/箇所)、森林ボランティア団体(210千円/箇所)

(4) 魅力ある北摂里山林景観づくりの推進

日本一と称される北摂里山林の景観を維持・保全するため、放置による荒廃化やシカの食害により防災・景観機能が阻害されている里山林の健全化を図る取組を支援する。

ア 北摂里山景観保全・防災向上事業

森林ボランティア団体等が行う里山林整備活動により発生した資源の有効活用や、里山景観の保全・防災を高めるための管理に必要な基盤施設及び老朽施設の維持管理を支援する。

- 対象 里山林の基盤施設及び老朽施設等の維持管理費用
(作業道、案内板や道標、安全設備等の新設、改修、補修、倒木の処理、薪割機の導入等)
- 事業主体 森林ボランティア団体、自治会、市町等
- 補助率 市町 1/2以内、森林ボランティア団体等 定額

イ 北摂産シイタケ原木林等更新対策事業

北摂の里山林をシイタケ原木供給林として利活用するために、放置され大径化したナラ・コナラの適切な管理を促進する。また、兵庫デスティネーションキャンペーンと連動した北摂産原木シイタケの普及啓発を強化するため、イベントの開催、販促資材の作成等を行う。

- 支援対象 更新対策：大径木の伐採、防護柵、作業道の作設に要する経費
普及啓発：北摂産シイタケの生産・消費の拡大に資する経費大径木の伐採、防護柵、作業道の作設に要する経費
- 事業主体 更新対策：原木シイタケ生産者
普及啓発：北摂原木シイタケ振興協議会
- 補助率 更新対策：1/2以内、普及啓発：定額



全国販売宣伝会議 (R4.9.26) で展示 PR した北摂原木しいたけ

ウ 北摂里山林育成事業

シカ食害対策を推進するため、平成 27 年度に設置した「パッチディフェンス (小区画植生保護柵)」の効果調査(3年に1回程度)を行うとともに、令和 2 年度にパッチディフェンス以外の裸地化した区域に植栽した、シカの不嗜好性樹木「ウリハダカエデ」の生育状況を調査し、実用性の検討を行う。

(3) ひょうご北摂里山サイクルツーリズムの推進☆

豊かな歴史・文化や自然の美しさを楽しむ「ひょうご北摂里山ライド2023」を引き続き開催する。また、グループ等が観光スポットや体験メニュー等を楽しみながら周遊する体験型サイクルツアーを実施するとともに、モデルコースを紹介するプロモーションビデオを作成・配信する。

ア 「ひょうご北摂里山ライド2023」の開催

ひょうご北摂の特色である「里山」等の風景を楽しみながら、平坦な田園地帯や峠道等の起伏に富んだコースを巡るサイクルツーリズムを推進することにより、地域の活性化を図る。

- 時 期 令和5年10月（予定）
- 募集人員 100人
- ル ー ト 川西市→猪名川町→宝塚市→三田市
→川西市 約90km



ひょうご北摂里山ライド2022 スタート地点

イ 体験型サイクルツアーの実施〔新規〕

サイクリング初級者が、5市町にある施設等の魅力を体験できるサイクルツアーを実施することにより、サイクルツーリズムのすそ野を広げ、交流人口増につなげる。

- 回 数 3回（うち1回は親子で参加できるコース）
- 体験例 観光農園、体験型施設 等

ウ デジタルプロモーションビデオの作成・発信事業〔新規〕

サイクルコースを紹介する動画を作成し、ひょうご北摂地域の暮らしの魅力を紹介するポータルサイトや、県民局（県）が管理する Facebook、Instagram 等で発信する。

- 内 容 YouTube 掲載用（約5分程度）1本及び SNS 掲載用（2～3分程度）2本の制作
- モデルコース例 上級者：北摂里山周回コース
中級者：川西猪名川三田里山コース
初級者：宝塚伊丹街中コース

エ 北摂里山“新発見”サイクルマップの更新・配布

北摂里山の北部地域でのスポーツサイクルによる交流人口の増加をめざし、サイクリストの目線で4つのモデルコースを設定したサイクルマップの更新・配布を行う。

- 内 容 コースの紹介（急カーブ連続など注意喚起）、サイクリングにおける安全運転啓発、簡易駐輪施設、「食」の施設や「ビュースポット」などの情報等

オ サイクルスタンドの設置

一庫公園や有馬富士公園など公共施設における設置を進めるとともに、民間施設においても関係市町と協力し設置を促し、サイクリストの利便性を高める。

2 伝統文化と阪神間モダニズムが息づくまちづくり



- (1) 阪神地域オープンミュージアム無料開放 DAY (阪神南県民センターとの共同事業) ☆
マイクロツーリズムの関心が高まるなか、阪神間モダニズムの文化を育んだ阪神地域に多数集積している個性豊かな美術館や博物館などへの来場を契機とし、阪神地域における交流人口の一層の拡大及び阪神地域のさらなる魅力発信を行う。
○時 期 令和5年10月の連続する3日間程度(うち2日間は土・日曜日を含む)
○対象施設 阪神地域の美術館、博物館、資料館など 30~40 施設

- (2) “こころ豊かにのびよう! のぼそう! ひょうごっ子” 宝塚フォーラムの開催
阪神北地域が誇る舞台芸術である宝塚歌劇を家族で親しんでもらい、青少年が夢を持ち、夢に向かって努力することの大切さを家族と一緒に考える機会を提供する。
○時 期 令和6年2月の日曜日
○対 象 県内在住・在学の小学生以上 18歳未満※の青少年とその保護者
※高校在学中は対象
○内 容 歌劇観賞
○募集人員 2,500人

- (3) 阪神疏水プロジェクト～母子大池疏水の保全・活用～
母子大池疏水(昭和8年完成)を将来にわたり適切に維持管理するとともに、地域の貴重な資源として地域全体で守り活用していく取組(保全計画・啓発資料の作成、イベント実施等)を支援する。



水路トンネル

- (4) 「新宮晋 アート」の魅力発信☆
県立有馬富士公園休養ゾーン(「新宮晋 風のミュージアム」)などにおいて、「新宮晋 アート」の魅力を発信するPRイベント及び広報活動を支援する。

第3 みんながつながるやさしいまちの創出

都市部特有の近所付き合いの希薄化、少子高齢化が進む中、既成の概念にとらわれない新しいスタイルのコミュニティを形成しながら、自身が望むようなつながりを持ってたり、世代を超えてつながることができるまちを目指す。

また、脱炭素社会に向けた取組や、災害時にも誰一人取り残さないまちを目指す。

1 高齢者にやさしいまちづくり



(1) フレイル予防対策の推進☆

高齢者のフレイル予防や自立支援、重度化防止を図るため、リハビリ専門職が配置されていない施設等においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りつつ、対象者の筋力や認知機能等の状態に応じて効果的な機能訓練が行えるよう、リハビリ専門職による講座を実施する。

- 対象 高齢者施設や通所介護事業所（デイサービス）等の職員等
- 実施回数 年間 15 回程度（1 講座あたり 5 回を 3 施設実施予定）

2 持続可能な暮らしの実現



(1) 阪神都市圏における公共交通の利用促進〔拡充〕☆

コロナ禍により大きく影響を受けた阪神間の公共交通について、県民への意識啓発を行うとともに、モビリティ・マネジメント（MM）※に取り組み、多様な交通手段をかしこく利用する暮らしにつなげる。

※一人一人のモビリティ（移動）が、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通政策

ア 交通まちづくりMM

(ア)「阪神都市圏公共交通利用促進」の検討

阪神都市圏公共交通利用促進会議等の関係者が連携する仕組みを活用し、公共交通利用促進の方策を検討する。

(イ)「MM事業制度」の創設

市町及び県民の意識向上を図るため、市町が実施するMM関連事業に対して、事業費の1/2を補助する。

イ バス案内システム「えきバスびじょん。」の整備

阪神地域で整備した10駅におけるバス利用者の利便性をより高めるシステムの普及促進に取り組むとともに、耐用年数を超えた機器等の更新を行う。



阪神都市圏公共交通利用促進会議発行のマップ

(2) SDGs×公民連携による地域ビジョンの推進〔新規〕☆

SDGsの視点から、公民が連携し、地域の未来を考え共に行動する場をつくることで、「コ・クリエーション（共創）が育む阪神地域」の実現に向けた取組の推進を図る。

ア 「阪神北 SDGs ワークショップ（仮称）」の開催

- 時期 令和5年9～10月
- 対象 企業、大学、自治体の若手職員等

イ 若手職員を中心とした SDGs 実践活動の実施

○時 期 令和5年10~12月

(3) 阪神北公民連携スキルアップセミナー〔新規〕☆

行政、地域活動団体及び学生等による公民連携を深めながら、地域課題の解決、若年層の地域活動への参画を促し、管内の地域活動全体の底上げを図る。

○時 期 令和5年6月~令和6年2月頃

○内 容 セミナー及び意見交換会を開催

○対 象 阪神北地域で活動する団体、地域活動に関心を持つ大学生・高校生

(4) 阪神北☆夢づくり応援事業

地域の活力を支える高い市民力と連携した地域づくりを推進するため、阪神北地域で活動する団体が、地域資源を活用し、地域課題の解決や内外の交流促進など、自発的に取り組む活動団体のスタートアップおよび活性化を支援する。

○対象団体 阪神北地域内で活動している団体

○対象事業 地域資源を活用し、阪神北地域の課題解決や交流促進につながる事業

○補助額 上限20万円

(5) 地域づくり活動表彰事業

阪神北地域における地域活動の活性化を図るため、顕著な地域活動を行っている個人・団体に対する顕彰を行う。

(6) 新型コロナウイルス感染予防・小児救急知識等の普及啓発

子どもの急病時における適切な受診勧奨や安心な子育てを支援するため、阪神北広域救急医療財団に委託し、育児リーダーなどを対象に子どもの急病への対処方法や事故防止等の知識の普及に合わせて、新たに新型コロナウイルスの家庭内感染に対する予防知識を啓発する講習会等を開催する。

ア 子育て支援のための看護師ミニ講座の開催

子育て中の保護者や子育て支援者等を対象に、新型コロナウイルス感染防止の知識を啓発するとともに、子どもの発達相談、小児救急医療の基礎知識、急病時の対処法・事故防止、児童虐待への対応等をテーマとした講座を開催する。

イ 普及啓発資料の作成

子どもの急病時の応急処置に関する知識、新型コロナウイルスをはじめ、季節ごとの流行疾患の予防方法や対処法、急病時における相談窓口及び医療機関の利用方法など、小児救急医療の適切な受診体制を周知することを目的に、冊子・リーフレット等の普及啓発資料を作成し、配布する。

(7) すまい・空き家対策

少子高齢化の進展に伴い、北摂地域のニュータウン等で空き家が増加してきており、防犯上、安全上、景観上等の問題が発生している。一方でテレワークの促進などにより働き方改革が進み、豊かな自然、生活の利便性にめぐまれた北摂地域の郊外の住宅への移住等の需要が増加している。このような社会状況の中、空き家対策セミナー、相談会などを活用しさまざまな空き家の問題の解決を図り、空き家の流通を促進させる。

○内 容 市町が主催する空き家対策セミナー・相談会等へ空き家相談員を派遣する。

(8) 地域防災力の向上☆

阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、地域防災力の強化を図ることにより、SDGs の目標 11 にある「災害に強いまちづくり」の実現のため、防災セミナー等を開催する。

ア ひょうご安全の日阪神北地域のつどいの開催

地震をはじめとした災害への関心が高まる「ひょうご安全の日（1月17日）」前後に、阪神北地域の一般県民、市町職員、自主防災組織や防災士等を対象に防災に関する知識を深めるセミナーを開催する。

- 時 期 令和6年1月
- 場 所 宝塚市内（予定）
- 対 象 一般県民、市町関係職員、自主防災組織会員、消防団員、防災士等
- 内 容 防災専門家による講演、防災士の取組発表 等

イ 市町と連携した総合防災訓練への参画

管内市町で実施される総合防災訓練に参画する。

ウ 地域主導による個別避難計画の作成支援 （全県事業）

優先度の高い要支援者の計画作成を早期に進めるため、市町主導の計画作成と並行して、本人・地域による計画づくりの加速化を支援する。

（ア）地域特性を考慮した実践型人材育成研修の実施〔拡充〕

○内 容

- ・基礎研修(全1回・地域リーダー、福祉専門職、社協、市町職員等)
- ・市町職員重点研修(全1回・市町職員)
- ・オーダーメイド型研修(計20回・基礎研修の対象者、地域住民)

（イ）自助(マイ避難カード)、共助(個別避難計画)の一体的な普及啓発〔新規〕

- 実施内容 ポスター、チラシ(電子媒体、紙)等
- 発信方法 電子媒体(HP、SNS):公共施設等広報ディスプレイ等導入施設
紙媒体:小規模集会所、市区町社協 等

(9) 総合治水対策の推進☆

近年頻発する集中豪雨による洪水被害を防止、軽減するため、管内の基幹河川である（一）猪名川、（二）武庫川の各流域圏において、「河川下水道対策」・「流域対策」・「減災対策」を組み合わせた『総合治水』を推進する。

「河川下水道対策」では、（一）猪名川中流部、（二）武庫川下流部堀込区間（生瀬地区）等で護岸工事等を実施する。

また、「流域対策」では、ため池の整備等を進めるほか、校庭や水田、ため池に雨水を一時貯留して下流水路や河川への流出ピークを低減する雨水貯留施設の整備に取り組む。

さらに「減災対策」では、関係市町と連携し防災訓練・防災学習などのソフト事業を継続的に取り組む。

ア 武庫川、猪名川の治水対策 （全県事業）

管内の主な整備箇所	内 容
（一）猪名川【御社橋】（川西市多田院）	橋梁、護岸
（一）猪名川（川西市矢問及び新田）	護岸
（二）武庫川【生瀬地区】（西宮市塩瀬町）	護岸、河床掘削

(一) 塩川 (川西市多田桜木)	橋梁
(二) 大堀川 (宝塚市小浜)	護岸
(二) 天神川 (伊丹市荒牧)	堤防強化
(二) 相野川 (三田市下相野)	護岸



(一) 猪名川 (川西市矢間)
護岸整備



(二) 武庫川 (西宮市生瀬)
護岸整備

イ 「市町ため池保全推進計画」の推進 (全県事業)

決壊時に人的・物的被害の恐れがあり、ため池保全管理法及びため池保全条例に基づく指定を受けた「特定ため池」を緊急性の高いものから計画的に改修・耐震補強し、未利用ため池の廃止を推進する。

○管内の主な整備箇所

- ・三田市 西池ノ下池、西池ノ上池(上池は廃止)
時谷池(市営事業)
岩井寺池ほか2池(廃止、市営事業)
- ・猪名川町 葦谷池、上野上池
東山下池(部分改修、町営事業)
上池ほか3池(廃止、町営事業)



ため池改修 (宝塚市丁ノ裏池下)

(10) 土砂災害対策の推進 (全県事業)

ア 山地防災・土砂災害対策計画の推進

「第4次山地防災・土砂災害対策計画」(令和3～令和7年度)に基づき、砂防えん堤や治山ダムの整備、急傾斜地崩壊対策について、災害発生時に人家への影響が大きいなど、緊急性の高い箇所から整備を重点的に推進する。

○管内の主な整備箇所

- ・砂防えん堤
 - 丸岡谷川 (三田市藍本)
 - 平井小谷川 (猪名川町木津)
 - 藍本東谷川 (三田市藍本)
 - 下母子谷川 (三田市母子)



砂防えん堤 (三田市高次)

- ・急傾斜地崩壊対策
 - 塔の町地区 (宝塚市塔の町)
 - 武庫山(2)地区 (宝塚市武庫山)
 - 泉ガ丘(2)地区 (宝塚市泉ガ丘)
 - 東畦野(1)地区 (川西市東畦野)
 - 藍本(1)地区 (三田市藍本)



急傾斜地崩壊対策 (猪名川町伏見台)

- ・ 治山ダム
 - 三田市波豆川（1基）
 - 川西市国崎（1基）
 - 川西市平野（1基）



治山ダム（猪名川町上阿古谷）

イ 土砂災害特別警戒区域の指定

大雨などにより土砂災害の危険性が高まった際に、県民自らが命を守る行動がとれるよう、土砂災害のおそれのある区域を土砂災害警戒区域（Y区域：イエローゾーン）に指定し、市町と危険の周知、警戒避難態勢の整備等を進める。

また、土砂災害警戒区域のうち、特に危険な区域を土砂災害特別警戒区域（R区域：レッドゾーン）として指定し、令和元年度末で管内全域の指定を完了した。今後は、地形改変箇所などの区域の見直しを行うとともに、対策工事が完了した箇所のR区域の解除に取り組む。

【R5年2月28日時点の指定状況】

市町名	急傾斜		土石流		地滑り		計	
	Y区域	R区域	Y区域	R区域	Y区域	R区域	Y区域	R区域
宝塚市	209	125	60	8	0	0	269	133
伊丹市	5	1	0	0	0	0	5	1
川西市	130	72	41	19	0	0	171	91
猪名川町	230	197	145	52	4	0	379	249
三田市	198	154	184	72	6	0	388	226
計	772	549	430	151	10	0	1,212	700

ウ 六甲山系グリーンベルト整備事業の実施

六甲山麓地域の土砂災害に対する安全性を高めるとともに、緑豊かな都市環境の保全を図るため、市街地に接する山腹斜面において、砂防えん堤や防災樹林帯の整備等を推進する。

事業箇所	宝塚市 逆瀬台～光ガ丘～長寿ガ丘
事業期間	平成7～令和11年度
事業内容	面積 243ha えん堤工、樹林整備

(11) 主要幹線道路の整備

（全県事業）

市街地における交通渋滞の緩和や安全で快適な都市空間の確保を目指し、主要幹線道路の拡幅や歩道整備、自転車道整備、自転車レーンの設置等に取り組む。

管内の主な整備箇所	内 容
（都）塚口長尾線（伊丹市昆陽南）	拡幅
（都）呉服橋本通り線（川西市寺畑）	拡幅
（都）尼崎宝塚線（宝塚市小浜南）	拡幅、電線類の地中化
（主）川西篠山線【屏風岩】（猪名川町北田原）	橋梁架替
（主）川西篠山線（猪名川町万善～木津）	歩道設置
（主）三田西インター線（三田市溝口～長坂）	バイパス
（一）山本伊丹線（伊丹市大鹿～稲野町）	歩道リニューアル、自転車レーン
（一）生瀬門戸荘線（宝塚市小林～大吹町）	歩道リニューアル、電線類の地中化



(都) 尼崎宝塚線(宝塚市小浜南工区)
拡幅



(主) 三田西インター線(三田市溝口～長坂)
バイパス工事

(12) 鳥獣被害対策の強化 (全県事業)

鳥獣類による農作物被害、生活環境被害を軽減するため、捕獲等を支援する。

ア シカ捕獲総合対策の実施

農作物被害を軽減するため、広域的なシカ捕獲対策を実施する。

イ イノシシ被害対策の推進

農業・生活被害が拡大・増加している地区を対象に、加害イノシシ等の捕獲を支援する。

ウ 特定外来生物被害対策の推進

アライグマ・ヌートリア等の外来生物による農業被害、生活環境被害の低減を図るため、捕獲及び処分を支援する。

(13) 廃棄物不適正処理対策の推進

阪神北地域は大都市の後背地にあり、廃棄物の不適正処理事案が多発しやすいことから、地域住民、県、市町、警察等の様々な主体が連携して、監視パトロールやクリーン活動などの未然防止活動を行うことにより、廃棄物不適正処理に強い地域づくりを推進する。

(14) 地域循環共生圏モデルの構築〔新規〕 (全県事業)

地域に賦存する再エネ資源を活用した「地域循環共生圏」の創出に向けた取組を実施

ア 北摂地域循環共生圏普及セミナーの開催

宝塚市西谷地区の取組(県有林を活用した里山保全・木質バイオマス燃料化事業)の普及

イ 地域循環共生圏モデル化事業等

○実施内容 家畜排せつ物由来のバイオガスを活用した地域循環共生圏構築に必要な情報等のツール化

○実施手法 (公財)地球環境戦略研究機関(IGES)に委託

(参考)地域循環共生圏

地域内に賦存する資源(木質バイオマスや家畜糞尿等)を活用した再生可能エネルギーによる自立的で持続可能な地域分散型社会を形成するとともに、地域の特性に応じた資源を補完し合う枠組み

第4 にぎわいのあるまち

宝塚大劇場のような観光施設や、『伊丹諸白』と『灘の生一本』下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷」などの日本遺産、豊富な地域資源の磨き直し、おいしい地元産の食により、外国人も含む人々の交流の促進を図り、いっそうにぎわいのあるまちを目指す。

1 地域の魅力を生かした交流人口の拡大



(1) ひょうご北摂の観光魅力発信☆

兵庫デスティネーションキャンペーンや大阪・関西万博といった機会に国内外からの観光客を阪神北地域に呼び込むため、地域の魅力ある観光資源をPRし、誘客拡大をめざす。

ア 観光パンフレット「ひょうご北摂☆きらっとまち歩き」のリニューアル

A5版にコンパクト化するとともに、紙面のQRコードをスマホ等で読み取ることで、阪神北地域ツーリズム振興協議会HP「ぐるっとおでかけ阪神北」にある詳しい情報にアクセスできるようにする。

イ ホームページ・SNSによる多言語情報発信

阪神北地域の観光情報を多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）で広く発信する。

- ・ホームページ：日本語、英語、中国語（簡体字）、韓国語
- ・Instagram：日本語、英語、中国語（繁体字）
- ・Facebook：日本語、英語
- ・Weibo：中国語（簡体字）
- ・NAVERブログ：韓国語

ウ ひょうご北摂魅力いっぱいフェアの開催

今夏に実施される「兵庫デスティネーションキャンペーン」にあわせ、阪神北地域の観光スポットや地域特産物の認知度向上を図り、誘客を促進する。

(ア) 大阪駅周辺イベントスペースを活用した情報発信

阪神北地域の観光情報の発信や地域特産品を広くPRする物産展を開催する。

○時期 未定

(イ) 大阪国際空港「INFORMATION ひょうご・関西」を活用した情報発信

地域の魅力を紹介するパンフレットの配布や展示などにより、観光情報を発信する。

○時期 未定

(2) 兵庫デスティネーションキャンペーンの展開

(全県事業)

兵庫観光の再生を図り、兵庫ブランド力の強化を図るため、令和5年7月から9月まで「兵庫デスティネーションキャンペーン」を実施する。

- 事業主体 兵庫デスティネーションキャンペーン推進協議会
- テーマ 「兵庫テロワール旅ー私の感動、その先へ。」

○実施内容

区分	主な実施内容
①兵庫五国の風土に根差した「食・文化・産業」体験メニューの提供	・「兵庫テロワール旅」体験コンテンツプロモーション
②兵庫五国の風土に根差した「食」のプロモーション	・DC テロワール弁当の販売 ・兵庫テロワール「食」フェアの開催
③環境負荷に配慮した「兵庫来訪」と「五国周遊」の利便向上	・「観光列車」等の運行 ・五国周遊を促す二次交通アクセスの充実 ・JR西日本「観光型 MaaS」での兵庫ページ開設
④シビックプライド醸成に向けた「県民総参加」のおもてなし	・県民のお勧め Instagram 投稿「兵庫テロワール lab.」での情報発信 ・「兵庫テロワール旅」サステナブル訴求動画の制作・配信
⑤ポストコロナの「旅スタイル多様化」への対応	・JR6社との公式ガイドブックの発行 ・旅行商品造成に繋げる旅行会社への働きかけ
⑥兵庫観光の「リブランディング」プロモーション	・「兵庫テロワール旅」広報媒体の制作 ・JRグループ及びJR西日本によるプロモーション

(3) 阪神北地域の広報活動の推進

FM ラジオ、SNS 等多様な広報媒体等を活用した効果的な情報発信を行い、地域の魅力を発信する。

2 美味しい「食」と多彩な「農」の創出



(1) 阪神アグリパーク構想の推進☆

阪神地域の多彩な「農」や食に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークに見立て、農業者、食関連等事業者、県民（消費者）が連携し、都市農業及び都市近郊農業の魅力アップを図る「阪神アグリパーク構想」を推進する。

ア 阪神産農産物パワーアッププロジェクト

(ア) 農業生産施設等導入支援

農産物直売所への阪神産農産物の出荷拡大等を図るため、パイプハウスなど生産施設等の整備を支援する。

- 事業主体 農業者、農業者が組織する団体等
- 補助率 1/3 以内
- 補助限度額 2,000 千円/事業主体

(イ) 「阪神産」黒大豆枝豆のブランド化と食育を通じた需要拡大〔拡充〕

a 黒大豆枝豆における機械化栽培技術の普及・定着推進

溝堀機による排水対策及び乗用管理機による中耕除草作業等により、大規模化に対応した機械化体系を実証し、研修会により技術の普及を図る。

b 食育活動を通じた「阪神産」黒大豆枝豆の魅力発信と需要拡大

保育園児等を対象とした枝豆のさやもぎ体験や保護者への PR 活動を通じ、7月中旬から11月上旬



親子でのさやもぎ体験

まで継続出荷できる「阪神産」黒大豆枝豆のファンづくりを進める。

c 農福連携による未利用豆の有効活用

農福連携の取組により未利用豆（規格外品）の有効活用と新たな事業展開を促す。

(ウ) 次世代の担い手育成〔拡充〕【再掲】

イ 「メイド in 阪神」発信プロジェクト

令和4年度に創設した「メイド in 阪神」応援店制度の普及拡大を図るため、写真やYouTube動画作成により情報発信を進めるとともに、阪神地域の「農」と食の拠点施設をめぐるモバイルスタンプラリーを実施し、阪神食材の需要拡大や交流人口の拡大を図る。



メイド in 阪神ロゴマーク

(ア) 「メイド in 阪神」応援店制度の普及拡大

阪神産食材を積極的に活用する飲食店「メイド in 阪神」応援店の写真・動画を作成をし、「阪神アグリパークポータルサイト」等で情報発信することにより、県民が阪神産食材を味わう機会を創出する。

(イ) 「阪神アグリパーク」モバイルスタンプラリーの実施

○実施期間 令和5年7月～9月（3ヶ月間）

○実施場所 阪神地域の「農」と食に関連する拠点施設 45カ所/回

○実施方法 予めGPS登録した阪神地域の「農」と食に関連する拠点施設を3カ所以上巡った参加者に抽選で阪神産農産物等の詰め合わせを贈呈



阪神アグリパークモバイルスタンプラリー（R4年度）

ウ 阪神農業者×事業者マッチングプロジェクト

農業者と事業者の連携による阪神産の農畜林産物を利用した新商品開発や販売促進資材の開発を行う企画案を募集し、取組を支援する。

○事業主体 農業者、農業者が組織する団体、就労継続支援事業所

○補助率 定額

○補助限度額 200千円/事業主体

エ 「阪神アグリな100」発信プロジェクト

阪神アグリパークポータルサイトを活用し、阪神地域の「農」や食に関する魅力的なスポットや農畜林産物等の情報発信を行う。

(2) 盆梅・南京桃等の伝統作物継承対策の実施

ウメ輪紋病の緊急防措置の終了（令和3年3月31日）を受け、盆梅や南京桃など地域特産花木の生産再開の取組や、地域に伝わる接ぎ木技術を利用したサクラ盆栽等の安定生産の取組を支援する。

○事業主体 盆梅・南京桃等の生産者及び販売事業者等が組織する団体、市

○補助率 1/2以内

○補助限度額 200千円/箇所



正月に向け生産される松竹梅（伊丹市）

(3) 阪神都市農業情報発信強化事業(阪神南県民センターとの共同事業)

都市農業情報発信拠点「ひょうご都市農業支援センター」(H24年度設置 伊丹市北本町)の情報発信機能の充実を図るとともに、都市農業の応援団である都市農業ファンクラブ会員等を対象とした取組により、地域住民との共生による都市農業の推進を図る。

ア 「ひょうご都市農業支援センター」の機能充実

(ア) 多彩な阪神農産物や都市農業の多様な機能を紹介する動画の作成(館内放映・Web配信)

(イ) 企画展示の実施(農福連携展、阪神地域の生き物展 等)

イ 「都市農業ファンクラブ」の活動強化

(ア) 「阪神都市農業フォトコンテスト」の開催

阪神地域の農業をテーマとした写真を募集し、支援センターやWeb上での展示会を開催する。

(イ) ファンクラブ応援活動の実施

阪神産農産物(トマト、いちじく等)を知る座学や料理教室を開催する。

(ウ) ファンクラブ会員への年間を通じたイベント情報等のメール配信



令和4年度フォトコンテスト最優秀賞
「収穫の頃」(西宮市)

3 まちなかのにぎわい創出



(1) 武庫川(宝来橋~宝塚大橋)周辺散策空間の整備☆

宝塚市と連携し、武庫川(宝来橋~宝塚大橋)周辺において、賑わいを創出するため、宝塚市が実施する「花のみち」再整備に合わせ、観光地等を楽しく歩いて周遊できるよう歩道に歴史パネルを設置するなど、歩行者を重視した歩道空間を整備する。



宝塚大橋(歴史パネル設置検討箇所)

(2) 三田駅周辺散策空間の整備☆

三田市と連携し、市街地再開発事業により整備されてきた三田駅周辺の「新しいまち」と三田城跡や旧九鬼家住宅資料館などの「歴史の面影あふれるまち」をつなぎ、潤いのある散策空間を創出し、賑わいを演出するための市の取組みと合わせて武庫川護岸の一部区間をリニューアルし、案内パネルを設置する。



市道相生橋浄水線と武庫川(現況)

(3) 清和源氏発祥の地・多田神社周辺のまち並み整備☆

【本庁予算】

川西市と連携し、能勢電鉄多田駅に降り立った来訪者が多田神社への道のりがわかるようサインの設置や、石だたみ風の舗装を整備する。また、猪名川の整備に伴う塩川橋、御社橋の架け替えでは、歴史的建造物に調和した景観を創出し、歴史と文化を感じるよう配慮した整備をする。

(4) 市街地再開発事業の推進 (全県事業)

既成市街地の健全なまちづくりを図るため、都市計画法及び都市再開発法に基づく土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を推進する。

事業計画 (阪神北県民局管内)

整備箇所	事業期間	全体事業費	県総補助額	R5 補助額
三田駅前Cブロック	R2~R8	約 254 億円	約 34 億円	282 百万円

※負担割合 国 1/3、県 1/6、市町 1/6、事業者 1/3

(5) 商店街ファンづくり応援事業 (全県事業)

商店街に賑わいをもたらすため、商店街が行う地域性・独自性をもったイベントなどを支援する。

○対象者 商店街・小売市場の団体

○対象事業 商店街の魅力をアピールし、ファンを獲得することで商店街の潤いにつながる事業、コロナ禍でも集客につながる事業

○補助額 100 千円~200 千円

(6) 県立都市公園あり方検討の実施 (全県事業)

県立都市公園の自然環境保全や、活性化のあり方について、地元住民や自治体、有識者など幅広い関係者の意見を踏まえて検討を実施する。

ア あり方検討会の開催

○内容 自然環境保全、活性化の検討を実施

○対象 舞子公園、西猪名公園、明石公園

イ Park-PFI 事前調査の実施

○内容 サウンディング調査、公募条件確認、事業者ヒアリング 等

○対象 赤穂海浜公園、播磨中央公園、明石公園、舞子公園、西猪名公園

(参考)Park-PFI

都市公園において飲食店、売店等の設置又は管理を行なう民間事業者を公募により選定し、事業者が収益を公園の整備に還元する代わりに、設置管理許可を 20 年まで保証し、長期的な投資が可能な状況を創出

<参考> 地域創生戦略KPI

項目	KPI	目標値 R2 実績 達成率	目標値 R3 実績 達成率	目標値 R4 実績 達成率	R5 目標値	R6 目標値
自分らしいスタイルが実現できるまち	阪神北地域に住み続けたい人（住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合）※	79.2%	79.4%	79.6%	79.8%	80%以上
		81.2%	76.5%	77.8%		
		102.5%	96.3%	97.7%		
	転入者数（日本人住民・国外含む）	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人
		24,096人	23,624人			
		89.2%	87.5%			
自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまち	対外的に誇れる地域資源の存在（住んでいる地域に自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合）※	58.0%	58.5%	59.0%	59.5%	60%以上
		54.6%	49.8%	43.2%		
		94.1%	85.1%	73.2%		
	自然環境の保護（住んでいる地域で自然環境が守られていると思う人の割合）※	58.0%	60.0%	62.0%	64.0%	65%以上
		64.6%	57.9%	59.0%		
		111.4%	96.5%	95.2%		
みんながつながるやさしいまち	移動の利便性が高い地域（住んでいる地域の公共交通機関は便利だと思う人の割合）※	62.0%	64.0%	66.0%	68.0%	70%以上
		56.7%	57.5%	56.4%		
		91.5%	89.8%	85.5%		
	防災意識の向上（家庭で災害に対する自主的な備えをしている人の割合）※	44.0%	45.5%	47.0%	48.5%	50%以上
		50.6%	49.3%	42.9%		
		115.0%	108.4%	91.3%		
にぎわいのあるまち	地域資源の価値（観光消費額（名目））	1,900億円	2,025億円	2,150億円	1,250億円	1,370億円
		789億円				
		41.5%				
	農産品等生産・流通（農業産出額（推計））の向上	83.2億円	84.5億円	85.9億円	87.3億円	88.6億円
		83.4億円	81.0億円			
		100.2%	95.9%			

※出展：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

〈参考〉

令和5年度 阪神北県民局 地域躍動推進費事業体系

[単位:千円]

